

# モバイル連携ソフトウェア “FIELDLINK”

山田耕一\* 太田一史\*  
山足光義\* 茂木 強\*  
相馬仁志\*

## 要旨

携帯電話及び端末の普及により、出先から社内のサーバにアクセスしてメールを読んだり日誌を提出する、商品データベースにアクセスして商品情報を得る等の業務を行うことが可能となってきた。

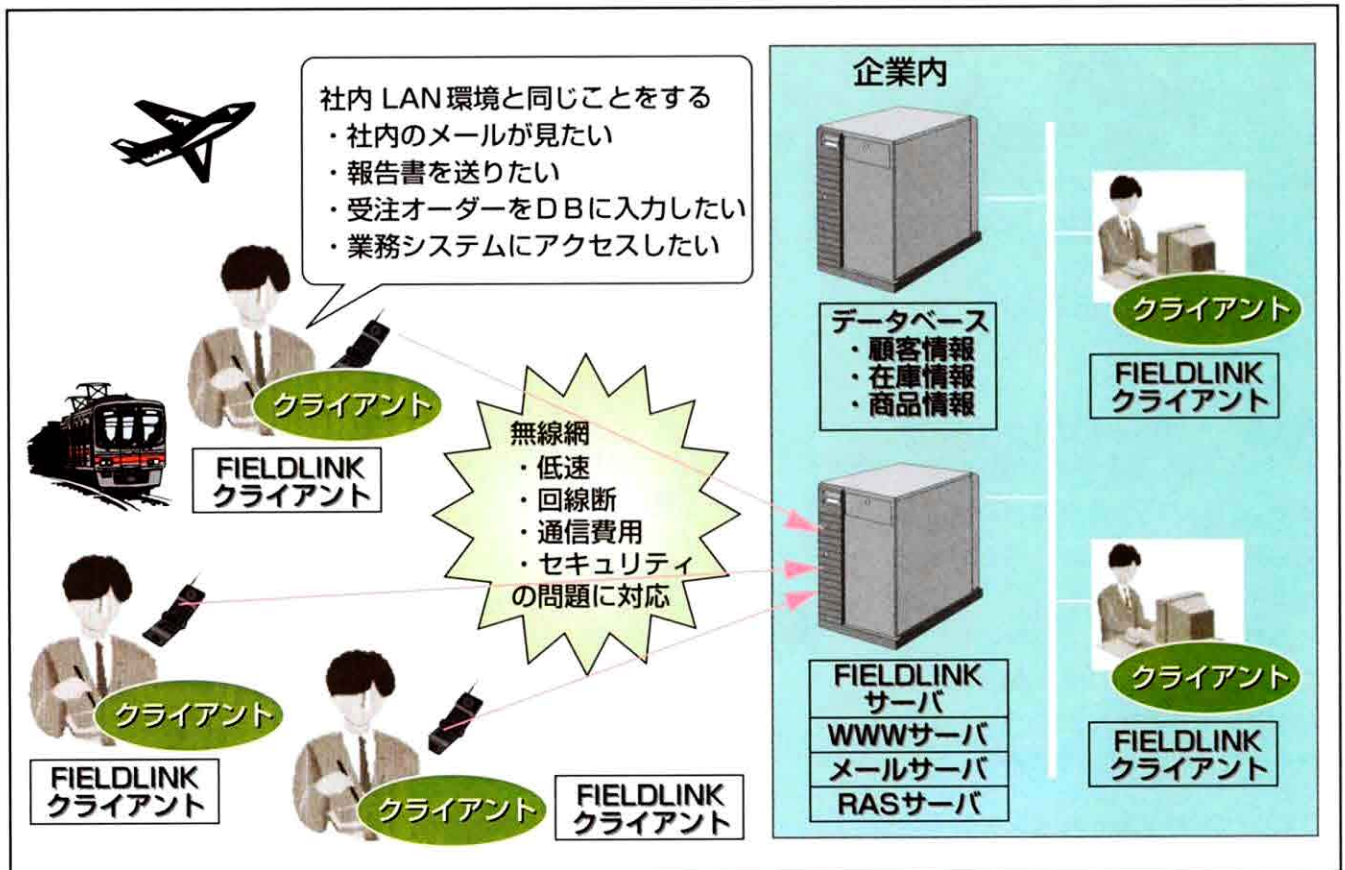
一方、構内のLANでは、イントラネットが普及している。イントラネットは、すべての操作がブラウザ上で行える、サーバでプログラムやデータの一元管理ができる、様々なマシンで実行できる、というメリットがある。

そこで、モバイル環境からクライアント/サーバ型のシステムだけではなくイントラネットのシステムにもアクセスしたいという要求も出てくる。しかし、モバイル環境からこれらシステムにアクセスするには、通信速度、回線品質(回線断)、通信コスト、セキュリティ、セッション

等の問題を解決しなければならない。

三菱モバイル連携ソフトウェア“FIELDLINK”は、上記の問題を解決し、従来オフィスでしかできなかった業務をモバイル環境へ広げることを目的として開発したミドルウェアである。今までのモバイル連携ミドルウェアはクライアント/サーバ型のアプリケーションのみに対応していたが、FIELDLINKは、さらにActiveXとJavaをサポートしており、イントラネット型のアプリケーションにも対応しており、一つの大きな特長となっている。

本稿ではFIELDLINKの特長を紹介するとともに、トピックスとして、回線断が発生したときの回復の仕組みについてその概要を紹介する。また、FIELDLINKを使ったシステム事例として、営業情報支援システムを紹介する。



## FIELDLINKを使ったシステム

FIELDLINKは、データベース、メール、ファイル等へのアクセスなど、従来オフィスでしかできなかった業務をモバイル環境へ広げるメッセージ連携ミドルウェアである。クライアント/サーバ型とイントラネット型の両方のシステムに対応している。